年主題	ともに	月主題	動き出して…すみれ なんだろう…ひつじ・ほし
聖書	野の花がどのように育つのか、注意してみなさい (新約聖書マタイによる福音書6章28節)		
月の ねがい 3歳児 (すみれ)	<ul style="list-style-type: none"> • 保育者や友だちとともに祈り、見えない神さまを感じる。 • 好きな遊びをみつける。友だちの遊びを見て心と体が動き出しやってみようとする。 • 風の気持ちよさ、草や花の香り、虫の感触などを感じたりする。 		
月の ねがい 4・5歳児 (ひつじ ・ほし)	<ul style="list-style-type: none"> • 神さまの創られた世界の中に、たくさんの恵みや不思議があることに気づき、思いを寄せる。 • 自分の好きなことやまわりのもの・ことに心をとめて、感じて考え動いていく。 • 草花や木々の育ち、虫や小動物の命にふれる。 		

(ママやパパたちへ) 5月の育ちのころ…こんなこと大事にネ!

5月を迎えます。4月の一か月を通った子どもたちは、新入園の子どもたちも進級した子どもたちも新しい生活に慣れ、それぞれに自分の居場所や遊びを見つけて過ごしています。中には新しい生活を受け入れるのに抵抗し、イヤイヤを見せることもあります。それは「大きくなる途中」のこと。そんな時はイヤイヤに振り回されず、どっしりと構えて受け止めてあげましょう。

上に書いてある、5月の「月のねがい」を、ママやパパたちも大切にしてくださいね。「今月は、こんなことを大切にしたいです」というメッセージです。園とご家庭が同じ方向を向くために、ぜひよろしく願います。

お願いしていること、やっていますか？

「一日に1回は『グュー』しよう」と「一日に1回はほめよう」です。

家事と育児は毎日しなくてはなりませんから、「親業は休みなし」です。パパもお家のことに頑張ってくれていると思いますが、特にママは大変です。普段は全く言うことを聞かなくて、それだけでヘトヘトになっちゃうのに、いざ何かあると「ママ」「ママ」攻撃です。『ママの、なんと偉大なことよ!』と、常々頭が下がる思いでいます。

だから、本に書いてあるような立派な子育てなんてできなくて構いません。

もしかしたら、「イライラの毎日」「ダメダメの連発」に落ち込んで、「ダメな自分」と自信を失ってるかもしれませんね。でもね、ダメなママだと落ち込む必要はありません。

どんな仕事だって、初心者はへたなものです。そして、「子どもが生まれて、親になる」のですから、何才で親になっても、みんな初心者から子育てを始めるのです(私も4人の子どもを与えられましたが、失敗の連続。怒ってばかりのダメな親でした。園長業は親業には優りませんでしたよ)。

そんな中での親としてできることが、「一日に1回は『グュー』しよう」と「一日に1回はほめよう」なのです。

そうすることで、「大好きだよ!」「大事だよ!」を、子どもに伝えるのです。

4月号で、「2種類の幸せホルモン」について書きました。それは、『セロトニン』と『オキシトシン』でした。

その中で、「早寝、早起き、朝ごはん。ゲームやテレビ漬けにしない」が必要と書きました。

このこともぜひ大切にしてください。朝、園に来てもボーっとして、身体が目覚めていない子を見かけ、寝る時間や起きる時間、ゲームの影響を感じます。この5月に、「グューとほめると、脱ゲーム」をぜひ大切にしましょう。連休には外に出て、親子で身体を動かしましょう!
(園長:飯塚拓也)